

平成 30 年北海道胆振東部地震の教訓

停電に備えマウスピースで補完！

マウスピースは CPAP を補完する第二の治療法です

2018 年 10 月

北海道胆振東部地震で全道停電が起こり、北海道の CPAP 使用患者は治療の継続にさぞ苦労したことでしょう。

現在、日本全国の CPAP 治療患者は 50 万人と言われております。北海道での数は公表されておりませんが、人口比でおよそ 2 万人と推定されます。その患者が停電で真っ暗闇な中、命をつなぐ CPAP すら動かず、いたずらに恐怖と不安にさらされたことを考えると本当に可愛そうで仕方ありません。

新潟県も平成 19 年 7 月 16 日にマグニチュード 6.8、深度 6 強の新潟県中越沖地震を経験しました。震災直後に柏崎市で恩田クリニックを開業する恩田晃先生（睡眠専門医）が調査に入り、被災 CPAP 患者の実態を第 40 回睡眠呼吸障害研究会に報告しました。大規模な停電はありませんでしたが、直後は 70%の方が CPAP を使用できず、医師や業者の懸命な努力で殆どの患者が使用できるようになるのに 2.5 か月を要しました。その中で、中断期間が長い患者ほど PTSD（心的外傷後ストレス障害）や寝室環境の変化を理由に治療の継続を断念してしまいました。

この経験から、できるだけ早期に治療を再開して不安を取り除く必要があること、そして電源復旧まで CPAP を補完する第二の治療法が重要であることを実感しました。